



桑の実の季節です
子どもの頃に味わった自然
の味、一生忘れません！

いよいよ雨の季節となってきました。先日雨が降っていた朝の出来事です。4歳児の園児が「あめあめふれふれ母さんが～♪」とそれは楽しそうに大きな声で歌を歌い、傘を差し長靴で水たまりの感触を味わい登園してきました。雨に濡れてしまうということよりも雨そのものを楽しんでいる姿がありました。「すぐに仕事に出勤しなきゃ、時間がない」という思いは一度おき、子どもの感性に寄り添ってくださり微笑みをもって見て下さる保護者の皆様に敬服でした。子どもの思いに寄り添うということ。言葉でいうのは簡単ですが、生活の中でかなり意識していないと難しく忙しい社会です。でもそんな時思います。一度しかないその子にとっての子育て時間を大切にしてほしい、後から思うと幼児期はとても愛おしい時間だったと先輩保護者は決まって伝えてくださいます。子育てはゆとりが必要です。私達保育者と一緒に喜びや悩みを共有して、かけがえのない時間を共に大切に過ごしていきたいと思っています。

箱根教育合言葉

～箱根を愛し・かしこく・やさしく・たくましく～

園庭がすっきりしました

6月2日とても暑い日に保護者会の役員の方を筆頭に園児のお父様方がありがとうございました。たくさんの参加者がいてくださったおかげで、側溝掃除、乳児園庭の畑の柵の作成、敷地から出た枝の選定、そして草むしりを3時間にもわたって黙々と作業してくださいました。たくさん剪定していただいた枝や木をペンギん組高嶋宏丞さんのお父様がトラックを出して処理くださり、重ねて感謝いたします。職員だけの力では到底及ばない園庭整備をしてくださったことで、子ども達のこれからの遊びの学びに繋がっていきます。きれいになって見渡しが良くなった木の足元を早速あそび場に行っている子もいました。作業中の父を見て「うちの父ちゃんすごいでしょ～」4歳児の園児が得意げに伝えてくれました。父の活躍をしっかりと見ている子ども達でした！



湯本小学校との園小連携第2弾

2年生と一緒に植えたサツマイモの育ちをげんき組が見に行きました。2年生にお任せして収穫するだけではなく幼児学園でもできることは何か子ども達と考え、雑草取りに行きました。2年生は校外学習に出かけていましたが、中休みの時に畑にいたげんき組に声をかけてくれ一緒に雑草を抜いたり自分達が今何をしてきたのか等話をしてくれたりしました。授業中の交流プラス自然に触れ合う活動も互いを知るチャンスと捉えます。雑草とりが終わったころ5年生の児童が声をかけてくれ、自分の名前を覚えてね、ちゃんと挨拶できて偉いねと褒めてくれ、小学生の先輩に褒められたげんき組はとても嬉しそうでした。大人に褒められるのはまた違い、照れたような満足気な表情が印象に残りました。



3.4.5歳児親子ハイキング

5月のすがすがしい季節のなか、湯本版森林浴ウォークに行ってきました。いつも歩いている散歩の小道を大好きな保護者と歩けることを楽しみに、何日も前から指折り数えている子ども達でした。ハイキングの中で、遠い距離を色々な散策をしながら気づいてくださったことがありました。園でどんな遊びをしているのか分かった、子ども同士の会話からの気づきがあった、保護者同士が顔見知りになれてよかった等感想を頂けました。遠くの場所に行くのもいいけれど、日頃子ども達が楽しんでいる場所で一緒に過ごせたこと、湯本にもこんな素敵な所があったこと、何よりじっくりとその時間を過ごせたことが良かったと言ってくさり、子ども達の生き生きした表情も重なって実施して良かったと感じました。子ども達の成長を互いに支え合えるよう、園で経験していることを発信し、遊びからの学びをお伝えして行きます。たくさんのご参加ありがとうございました！